

令和5年度(令和4年度実施事業分)主要事業評価シート					No.	14-7																																					
PDCA	主要事業名	畜産臭気監視事業	部課名	市民経済部環境課	担当	竹崎																																					
					内線	21-4001																																					
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 2 - 2 - 3 単位施策： 生活環境 全体事業期間： 令和 4 年度 ~ 4 年度 全体事業費等： 648 千円 会計 一般会計 歳出科目： 04.01.04.07.01					目標項目（予算計上時に作成）  予算見積書で活用																																					
	事業概要等	事業概要： 良好な住環境を確保するため、畜産施設から発生する臭気基準に超過していないか監視する。また、大同大学との共同研究で得た知見を基に、産業課と連携し、本誌の長年の課題である畜産臭気問題の解決を図る。																																									
		事業目的： 良好な生活環境を保全するため、畜産ふん尿から発生する臭気について継続的な監視を行う。																																									
		事業内容： 大同大学との共同研究で開発した簡易臭気センサーを活用し、継続して市内の畜産施設における臭気測定を実施し、畜産臭気の発生状況を監視する。																																									
		問題点・課題等： 強い臭気が発生している畜産農家に対しては、臭気測定の結果通知と併せて指導・助言を行っているが、臭気低減につながらっていない。																																									
	予算額	主要事業とする理由																																									
	648 千円	本市においては、市街地における畜産臭気が長年の課題となっており、継続して臭気低減に取り組む必要があるため。																																									
	財源内訳	得られる成果																																									
	市費	市内全畜産施設で臭気測定を実施し、結果を畜産農家に通知、併せて指導・助言を行うことで、臭気低減への取組みが促進される。																																									
	648 千円	<table border="1"> <thead> <tr> <th>目標値や目指すべき状態</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">臭気指数15以下の畜産施設の割合</td> <td>実績値</td> <td>94.5</td> <td>96.3</td> <td>—</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">その他</td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					目標値や目指すべき状態	令和2年度	令和3年度	令和4年度	単位	臭気指数15以下の畜産施設の割合	実績値	94.5	96.3	—	%	目標値	100.0	100.0	100.0	%		実績値					目標値					その他	実績値					目標値			
目標値や目指すべき状態	令和2年度	令和3年度	令和4年度	単位																																							
臭気指数15以下の畜産施設の割合	実績値	94.5	96.3	—	%																																						
	目標値	100.0	100.0	100.0	%																																						
	実績値																																										
	目標値																																										
その他	実績値																																										
	目標値																																										
0 千円																																											
0 千円																																											
0 千円																																											
D 実績値	決算額	得られた成果																																									
得られた成果と	803 千円	令和2年度94.5%、令和3年度96.3%だった臭気指数15以下の畜産施設の割合が97.9%へ上昇し、周辺の居住環境の改善につながっている。																																									
	成果指標																																										
	臭気指数15以下の畜産施設の割合		実績値	97.9	%																																						
			目標値	100.0	%																																						
C 課題の整理	事業の評価・課題	<b>C</b> 産業課との連携による継続的な臭気測定と畜産農家への測定結果の通知、強い臭気が発生している特定の施設に対する指導・助言等により、ほとんどの畜産施設において目標指数である臭気指数15以下が達成されており、年々達成割合も上昇している。 ただし、強い臭気を発する畜産農家はほぼ固定されており、例年指導・助言を行っているものの改善が見られていない。さらに、測定数値が基準を満たしていても、不快と感じる住民をゼロにすることが困難である。そのため臭気低減は勿論のこと、住民に対し、本市の畜産振興について理解が深まるような取組を考え、推進していく必要があると考える。																																									
A 課題解決の方向性	今後の事業の方向性	<b>改善推進</b> 畜産農家に臭気低減を意識した経営を行ってもらえるよう、今後も臭気測定を実施し、指導・助言を行う。また、令和5年度に産業課が、臭気が敷地外に拡散することを防止するシートを試験的に設置する農場に対し補助金を出す事業を行うため、産業課・環境課・畜産農家で連携して効果の検証を行う。																																									
観点別評価	必要性		有効性		効率性																																						
	①市の関与の妥当性	法定事務	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減	ある																																					
	②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	余地	※対象・手段の変更																																					
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	—																																					
主要施策の成果報告書で活用																																											
評価項目（決算時に作成）																																											